

令和7年度 寮務主事挨拶

寮務主事 水崎 一良

瀬戸内の豊かな自然に囲まれた本校では、高専の5年間（商船学科は5年半）の教育過程で、変化する科学技術に自ら対応し、独創的なアイデアやものが作れる人材を育てることを目標としています。学生たちは、校訓である「みなぎる気力と、たゆまぬ努力で、めざそう、悔いなき学生生活」を日々追求し、自らの夢の実現に向かって切磋琢磨しています。

本校の「白砂寮」は、461名の寮生（全学生数の73%）が共同生活を送っています（2025年4月1日現在）。この白砂寮は全学年許可入寮制としており、教育寮として位置付けられています。全寮生が共同生活を通して、友愛、協調及び自主の精神を培い、責任と規律ある習慣を体得させ、「社会生活に必要な資質と社会に有為な人間形成」を目指して運営されています。

低学年（1年・2年）における第一の目標は、「基本的生活習慣」を身につけることです。「①やるべきことをきちんとする、②時間を守る、③人に迷惑をかけない」などの基本的生活態度を磨きます。

3年になり「基本的生活習慣」が身についた学生は、第二の目標として、自主的・主体的な運営のもとに、共同生活を通して、自由と規律、自主と責任を身につけ、明るく、潤いのある生活を自らの手で築き上げることを目指します。

これらの目標を達成するには、寮生と教職員が強い意志を持って、さらに保護者と連携・協働しながら、「チーム弓削商船」として取り組まなければなりません。全寮生の夢の実現に向け、設備の充実、教育方法の見直し、寮生指導・支援などを通して、全力でバックアップを行ってまいります。

1. 努力目標

- ゴール： 学生生活を通して、忍耐強く「輝き」を求め、社会人に求められるスキルを身につける
- テーマ： 目標を定め、悔いのない高専生活の支援
- キーワード： 1) アクティブ、2) ルール、3) コミュニケーション、4) リスペクト

※学生の自立を促し、学生が主役のチーム弓削商船につなげる

成長の過程：依存【乳児、あなたが】→自立【幼児～少年期、私が】→相互依存【青年期～成人、私たちが】

※個人としては… 学生支援・指導のゴールをシンプルに見やすくする

（具体的・視覚的・挑戦的：寮生会と連携・協働し、学生目線も取り入れる）

2. 指導・支援の方針

- 全教員が寮当直により指導にあたる
- 就学意識の徹底、規範意識の向上
- 保護者との連携・協働
- 寮内環境の改善
- 寮生会の活性化